

これまでの本市ごみ減量施策の評価

評価	課題
<ul style="list-style-type: none">• データに基づく施策展開が出来ている• 雑がみ分別収集• 古着の拠点回収• 生ごみ処理容器「キエーロ」普及• 資源物ステーションに回収容器が設置されていること• ごみ情報紙「へらすべえ」は画期的• 地区説明会など地道な活動を実施していること• 市民に寄り添った施策（ごみステーション立会い）• 市民の声を聞く（アンケート調査、ごみステーション立会い、説明会）	<ul style="list-style-type: none">• 施策と結果の因果関係の検証不足• 市民への浸透不足• 周知の工夫不足• 若年層へ届く周知啓発• ごみの分け方・出し方など基本的情報が浸透していない• 白色トレイや牛乳パックの店頭回収の強化• 市のリサイクルコーナーの周知不足• プラスチック製容器包装の分け方・出し方の周知不足（汚れをどこまで落とすべきか、シールを剥がす必要があるのか）• 普及啓発だけで、市民のごみの分別・減量の行動へ繋げることができるのか• 守りやすく効果的なルールづくり• ごみに関心が低い方への周知方法• ゴミ出しへの関心が低い方、ゴミ出しが困難な方への周知や支援など、置き去りにしない施策